



特集 日ハム 新本拠地 北広島が抱える難問・珍問



▲造成中の「Fビレッジ」と上野正三市長

北海道日本ハムファイターズの新本拠地となる北広島市の「北海道ボールパークFビレッジ」(BP)は「コロナ禍を乗り越えて2023年春に開業できるのか。東京オリンピック開催に不安がぬぐえない中、BP中心の大規模開発に舵を切った北広島市が抱える課題は多い。その中には「捨て猫が増えるかもしれない」と動物愛護を心配する声も。「世界がまだ見ぬBP」をめぐる難問珍問とは……。(ジャーナリスト・黒田 伸)

その1 そもそも「日本エスコン」とは…

BPオープン前の3年前に決まった「エスコンフィールド北海道」というスタジアムの命名権決定は異例だった。その権利を得た「日本エスコン」は東証1部上場で資本金約63億円。だが、道民には全くと言っていいほどなじみがない。北広島市民大学OB会が開催した市の担当者による説明会で、出席者から「どこの会社で、何をしているんですか」という素朴な疑問が出たのもうなずける。担当者は関西が拠点

理想を具現化し、新しい未来を創造する

その2 駅西口開発もエスコン主導で…

りで、外国みたいになっちゃうのかね」とは70歳代の女性の言葉。エスコンとは不動産の「estate」と星座の「constellation」と合わせた造語で「不動産業で輝く星座になる」という願いのもとに設立された会社だという。10年で約50億円という異例の高額での命名権取得に対して、不動産業界は「北広島をきっかけに道内で活発な不動産開発を進めるのではないか」と戦々恐々としている。

立された会社だという。10年で約50億円という異例の高額での命名権取得に対して、不動産業界は「北広島をきっかけに道内で活発な不動産開発を進めるのではないか」と戦々恐々としている。

下旬の市議会定例会で、同社を昨年暮れに優先交渉権者に選んだ理由について、「全国で手掛けてきた駅前開発の実績を評価した」と説明している。

日本エスコンは、北広島駅西口周辺の市有地4カ所約2・4ヘクタールを中心とした開発も優先して請け負うことになった。駅前商店街や飲食店にとつては、「エスコンが主導する商業施設に客が集中する」として、複雑な心境で成り行きを見守っている。

この駅前再開発を提案したのは最終的に日本エスコン1社だけで、ゼネコンや地元業者からの提案は「コロナ禍の影響もあり、途中で提案を取り下げた」と発言し、波紋を呼んだ。

上野正三市長は2月「市側は市のカネを使わず、業者が一括して開発してくれた方が助かる、という説明だっ



続きは『月刊クオリティ』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)